

国際会議成果報告書

(公財)スガウエザリング技術振興財団 国際会議助成事業

令和6年度国際会議助成（第43回）

1. 国際会議名 第4回アジア電気化学インピーダンス法に関する国際会議
2. 申請者所属・氏名 名古屋工業大学・星 芳直
3. 開催期間 令和6年11月25日から令和6年11月26日まで
4. 国際会議成果の概要

（和文）本国際会議は、2015年に第1回（中国、清華大学）開催後、アジア諸国を含む多国間会議に拡大することを目的とし、日本と中国において2年ごとに交互に開催している。2021年に予定されていた第4回会議は新型コロナウイルス感染拡大にともない延期となり、本大会が第4回会議として日本開催となる。本大会第4回会議は公益社団法人腐食防食学会の主催において国立大学法人名古屋工業大学（愛知県名古屋市昭和区御器所町）にて開催され、中国、韓国、ベトナム、トルコなど世界各国の研究者を含む参加者62名、発表件数43件（基調講演3、招待講演6件、一般講演17、ポスター発表17件）となった。講演では、アジア各国において開発される新規構造材料や腐食モニタリングの電気化学インピーダンスデータが扱われ、多岐にわたる研究成果の共有から活発な議論と情報交換が行われた。ポスター発表では、各国から参加された大学院生を含む若手研究者から優秀なポスター発表6件（Best poster award 1件、Poster award 5件）を表彰した。会期中には電気化学測定に関連した協賛企業による展示に加え、名古屋の文化や歴史を通じた懇親会や見学会を実施し、いずれも好評を博した。電気化学デバイス開発のメッカであるアジア、特に日本（愛知県）での本会議開催実現は、国際貢献として大変意義あるものであり、「電気化学インピーダンス法（EIS）」をキーワードとする本国際会議は、アジアの主要な研究者間のコミュニケーションを促進するとともに、学术界と産業界の研究開発との連携強化に繋がる極めて重要な場となった。本国際会議をきっかけに、「電気化学インピーダンス法（EIS）」の深化から、アジアを拠点とした「ものづくり」の世界発信への展開が期待できる。

（英文）AEIS2024 was organized by Japan Society of Corrosion Engineering (JSCE), and held at Nagoya Institute of Technology (NiTech), Aichi, Japan from 25 to 26 November 2024.

Conference Chair: Yoshinao Hoshi (Nagoya Institute of Technology)

Secretary: Shinya Kato (Nagoya Institute of Technology)

Purpose of AEIS2024: Establishment of theory and academic development in EIS.

Number of participants: 62 attendees from Japan, China, Korea, Türkiye, Vietnam, and USA.

Number of presentations: 3 Plenary lectures, 6 Invited talks, 17 Oral presentations, and 17 Poster presentations

(公財)スガウエザリング技術振興財団 研究助成事業